

数値地図 5 mメッシュ (標高)

テキストデータフォーマット

テキストデータのレコード構成は、以下のとおりです。

レコード番号	標高値
レコード1	1 2 3 4 399 400
レコード2	1 2 3 4 399 400
レコード3	1 2 3 4 399 400
.	.
.	.
.	.
レコード299	1 2 3 4 399 400
レコード300	1 2 3 4 399 400

北

南

西

東

- 1) レコードは北端から南端への順序で並べています。
- 2) 各レコードには、レコード番号、400個の標高値を順に記述しています。
- 3) 各レコード毎に復帰・改行コードで区切り、文字コードはシフトJISを使用しています。

レコードフォーマット

項目	開始	終了	仕様	内容
空き領域	1	6	6X	
レコード番号	7	10	I 4	北→南の順
標高値 1	11	15	I 5	西→東の順。 単位は0. 1 m。 海部及び陸水部の場合、- 9 9 9 9を記述する。
標高値 2	16	20	I 5	
標高値 3	21	25	I 5	
.	.	.	.	
.	.	.	.	
.	.	.	.	
標高値 3 9 8	1996	2000	I 5	
標高値 3 9 9	2001	2005	I 5	
標高値 4 0 0	2006	2010	I 5	
復帰・改行				レコードは「CR」、「LF」で区切られる。

- 1) 標高値は0. 1m単位で表現しています。(100. 0mは、「△1000」と表現しています。ただし、△はブランクです。
- 2) 海部及び陸水部の場合、「- 9 9 9 9」を記述しています。
- 3) 各レコードは「CR」「LF」で区切っています。
- 4) 「仕様」のI,Xは、FORTRAN言語の書式仕様のための編集記述子で、それぞれ次の意味を持っています。
 - I：指定された整数を10進数表示した各数字(1バイト)が右詰で、記録される。
 - X：空白が埋められる。